

Shining Achievers

愛知池バタフライガーデンに行ってきました！

10月25日(水)はプロジェクトの学習の一貫として、愛知池のバタフライガーデンでのフィールドワークに行ってきました。7月に愛知池友の会の飯塚さんにSOLAN小学校にご来校頂き、ガーデンの整備のことやアサギマダラ（蝶）のお話をしてくださったので、実際にガーデンを見れるとなって、みんなワクワクしながらこの日を待っていました。

お天気にも恵まれた当日は愛知池友の会の方々に大歓迎されとても温かい気持ちになりました。現地では、3つの活動を行いました。1つは、アサギマダラについての紙芝居の読み聞かせ。2つ目は、ネイチャーゲーム。最後に、愛知池ウォーキングコースの散策です。

友の会の後藤さんによる紙芝居の読み聞かせ「かぜの妖精あいくんの旅」は、語りがとても心地が良く、まるで目の前に本当にアサギマダラが飛んできたような気持ちになりました。子どもたちは、青空の元で聞くお話の世界に引き込まれました。紙芝居の後は、飯塚さんへの質問タイムの時間でした。「アサギマダラはオスとメスはどうやって見分けるの?」「卵はどんな形をしているの?」「どうして旅するの?」と沢山の質問が出ました。飯塚さんは写真を見せながら子どもたちの質問に丁寧に答えてくださいました。

ネイチャーゲームは、ゲスト講師「ヤマニン」こと、山本康弘さんが「フィールドパターン」という活動をご用意してくださいました。ガーデンの中の植物や生き物の「形」を探すとゲームを通して学ぶ活動です。丸、三角、四角、星型などのいろいろな形を探します。よく観察しないと見つからないので子どもたちはとても夢中になっていました。見つかった時は「先生、見て！星型の模様がここにあるよ。」と、とても嬉しそうでした。

最後の、ウォーキングコースは、池を眺めながら、少しの間歩きました。鳥のさえずりが聞こえたり、トンボが飛んでいたりとまさに自然とたくさん触れ合えることが出来ました。カエルをみつけた子どもたちもいましたよ。

訪問中、アサギマダラの蝶は残念ながら見る事が出来ませんでした。でも、もしかしたら、空から私たちのことを見ていたかもしれません。愛知池バタフライガーデンで頂いた沢山のアイデアを活かして、次はSOLAN小学校1年生が生き物とふれあえるガーデン作りを目指します。